



要 望 書

山陰道の早期全線開通 及び
益田道路(久城～高津間)の早期事業着手
について

令和4年12月

島 根 県

山陰自動車道(安来～益田)建設促進期成同盟会
浜田・益田間高規格道路建設促進期成同盟会
浜田・益田間高規格道路建設促進経済団体期成同盟会

山陰道の早期全線開通 及び 益田道路(久城～高津間)の早期事業着手についての要望書

鳥取市から下関市にかけての日本海沿岸地域を結ぶ山陰道は、国の骨格を形成する高速道路ネットワークの一部であるとともに、日本海国土軸の形成や、地方創生を実現するために必要不可欠な社会基盤です。

島根県内の山陰道は現在、約7割が開通しています。来年度から令和7年度にかけて37kmの開通目標を公表いただき、また、その他の事業中の3区間についても鋭意事業を進めていただいております。多大なるご尽力に対し、感謝申し上げます。

本路線の沿線地域では、企業進出が増加するなどの地域経済への効果が現れており、また、昨年8月の出雲市多伎町で発生した地すべりによる国道9号の全面通行止めの際には、山陰道が代替路として機能し、ダブルネットワークの必要性を改めて示すなど、山陰道のストック効果が着実に現れてきております。

人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根をつくる「島根創生」の実現には山陰道が必要不可欠であり、ミッシングリンクとして残る事業中区間を一日も早く完成させるとともに、未着手区間にすみやかに着手し、早期の全線開通が求められています。

特に、未着手となっている益田道路の久城～高津間は、段階的な整備の途中段階として整備した一般県道久城インター線を介して繋がっていますが、高津川と益田川に挟まれた浸水想定区域にあるため、洪水時に緊急輸送道路ネットワークの途絶が発生することや、益田市街地における交通混雑により効率的な物流が阻害されていることなど、島根県内の高規格道路ネットワークの弱点となっており、当該区間のミッシングリンクの解消は喫緊の課題となっています。

ついては、下記項目を要望しますので、特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

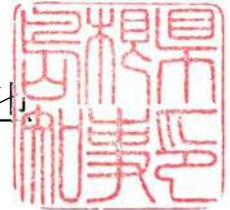
記

1. 山陰道の事業中区間を一日も早く完成させるとともに、未着手区間にすみやかに着手し、山陰道の早期全線開通を図ること。
2. 未着手区間のうち、ネットワークの弱点となっている「益田道路(久城～高津間)」について、令和5年度の事業着手を図ること。
3. 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に必要な予算・財源を確保するとともに、5か年加速化対策後も予算・財源を通常予算とは別枠で確保すること。

令和4年12月20日

島根県知事

丸山達也



山陰自動車道（安来～益田）建設促進期成同盟会

会長（大田市長）

楫野弘和



浜田・益田間高規格道路建設促進期成同盟会

会長（益田市長）

山本浩章



浜田・益田間高規格道路建設促進経済団体期成同盟会

会長（益田商工会議所）

松永和平





島根県内山陰道の整備状況

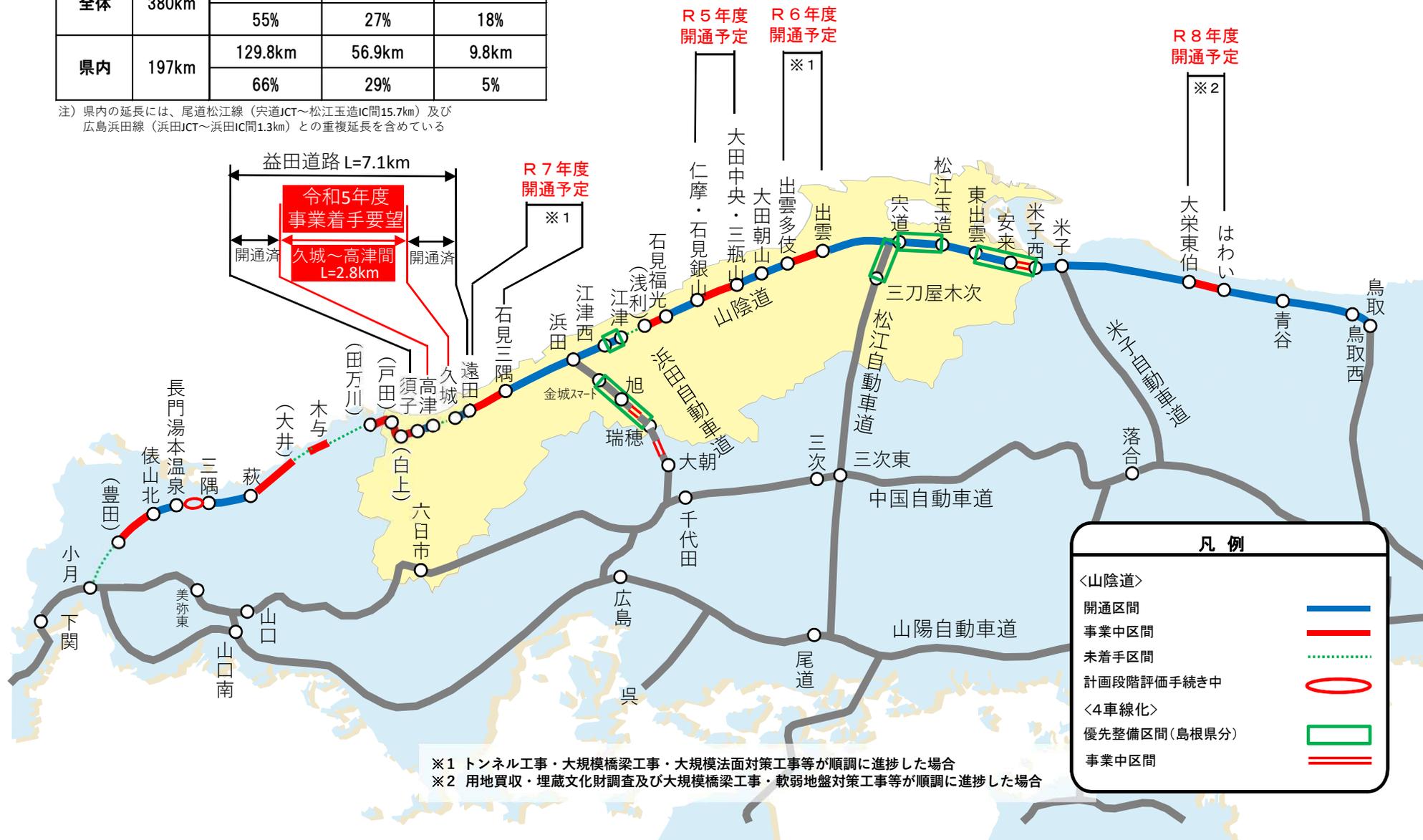
資料1

【山陰道の整備状況】

(令和4年12月1日現在)

	総延長	開通済区間	事業中区間	未着手区間
全体	380km	208km	104km	68km
		55%	27%	18%
県内	197km	129.8km	56.9km	9.8km
		66%	29%	5%

注) 県内の延長には、尾道松江線(穴道JCT~松江玉造IC間15.7km)及び広島浜田線(浜田JCT~浜田IC間1.3km)との重複延長を含めている



凡例

- <山陰道>
 - 開通区間: 青線
 - 事業中区間: 赤線
 - 未着手区間: 緑点線
 - 計画段階評価手続き中: 赤楕円
- <車線化>
 - 優先整備区間(島根県分): 緑枠
 - 事業中区間: 赤枠

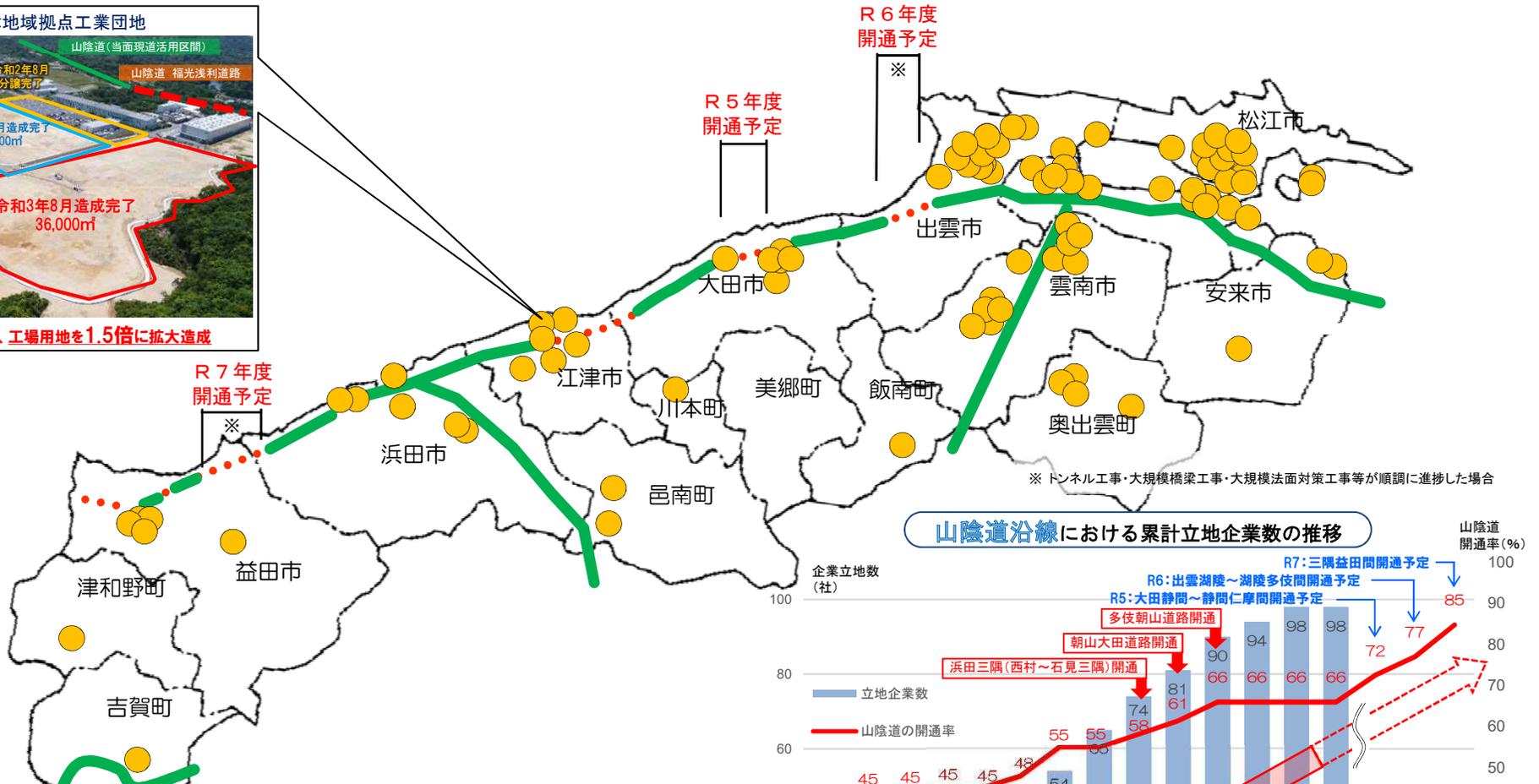
※1 トンネル工事・大規模橋梁工事・大規模法面対策工事等が順調に進捗した場合
 ※2 用地買収・埋蔵文化財調査及び大規模橋梁工事・軟弱地盤対策工事等が順調に進捗した場合



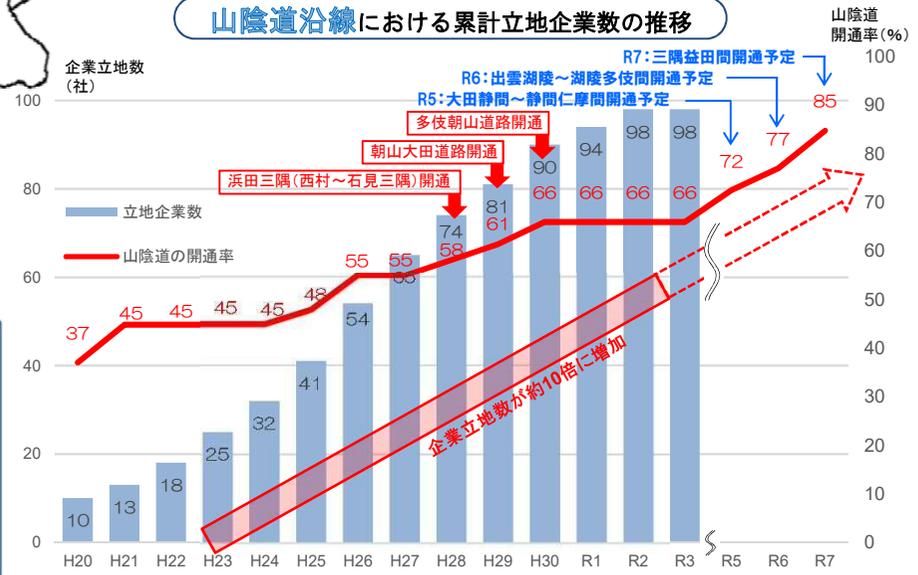
高速道路沿線に企業が進出！

資料2

平成20年度以降、進出または増設した県外企業143社のうち約9割の企業が高速道路沿線に立地



山陰道沿線における累計立地企業数の推移



【山陰道開通による効果】

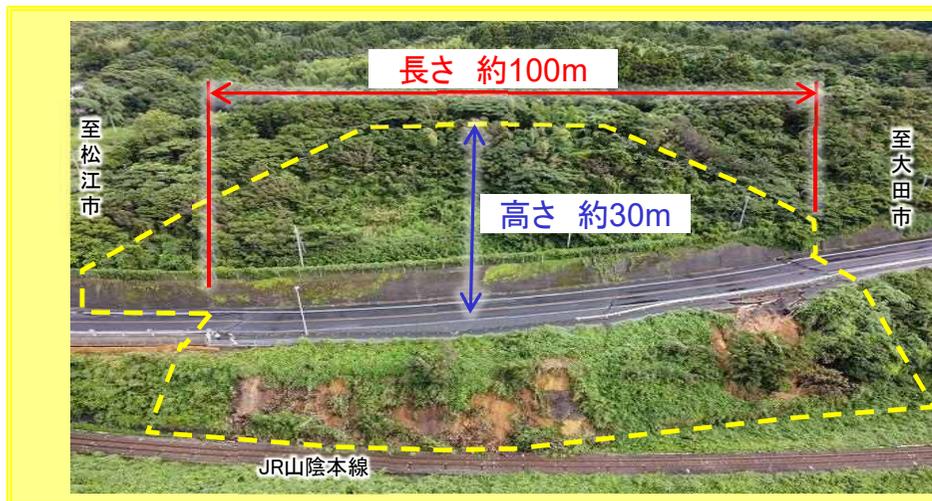
- ・工場増設による新規雇用の創出
- ・地元産業の雇用創出にも貢献
- ・通勤圏の拡大 (人材獲得の一助に)



山陰道が大規模災害時に代替路機能を発揮!

資料3

令和3年8月の大雨により出雲市多伎町小田地内で大規模な地すべりが発生し、国道9号が全面通行止となった際、山陰道が代替路として東西を結ぶ道路ネットワークの途絶回避に貢献!



出典元) 国土交通省松江国道事務所

山陰道がダブルネットワーク効果を発揮!!



山陰道整備前後の宍道～大田間の迂回時間



※) H18年度: R54号～県道川本波多線～県道三瓶山公園線～大邑広域農道～R375号
R3年度: R9号～山陰道(出雲多伎IC～大田中央・三瓶山IC)～R9号
(走行速度は、山陰道は70km/h、一般道は40km/hと設定)

通行止め後の山陰道の交通量が約4割増加



※) 交通量グラフは松江国道事務所データから作成

出典元) 国土交通省松江国道事務所

